

# 見 解 書 の 概 要

奈良機械製作所工場建設事業

昭和60年2月



株式 奈良機械製作所

## 1 総括

### 1-1 事業者の氏名および住所

株式会社 奈良機械製作所

代表取締役 奈良 白起

東京都品川区東大井二丁目7番8号

### 1-2 対象事業の名称

奈良機械製作所工場建設事業

(事業の種類：工場の設置)

### 1-3 対象事業の内容の概略

本事業は、東京都品川区東大井二丁目7番8号にある当社の工場（事務所棟、工場棟、実験室棟）を東京都大田区城南島一丁目地先（大井ふ頭その2）に移転し、建設するものである。事業計画の概要は、表1-1に示すとおりである。

表1-1 事業計画の概要

工場設置位置	東京都大田区城南島一丁目地先
工場生産品目	化学機械（粉碎機、流動層乾燥装置、造粒機等）
同生産量	550トン/年
同主原料	鉄 鋼
工場敷地面積	総面積 0.910ヘクタール 事務所、作業所面積 0.375ヘクタール 駐車場、通路面積 0.306ヘクタール 緑地面積（25%） 0.229ヘクタール
敷地内建物	工場棟、管理事務所棟、実験室棟、倉庫棟 危険物倉庫
主要設備	工作機械、塗装水洗ブース、空気圧縮機 実験用ボイラー、脱臭炉 実験用集塵機、排水処理装置等

1-4 評価書案について提出された意見と事業者の見解

評価書案について、関係区長からの意見が一通提出された。

提出された意見の全文と事業者の見解は以下に示すとおりである。

関係区長の意見と事業者の見解

大田区長の意見	見解
評価書案の結論のとおり、事業実施の際、環境保全に十分な配慮をするとともに、操業後においてもより良好な環境の確保に一層努力されたい。	事業実施の際には、環境保全に十分配慮し、操業後においてもより良好な環境を確保するよう努力する。

## 2 対象事業の目的および内容

### 2-1 目的

現在、東京都品川区東大井にある当社の工場を、東京都大田区城南島一丁目地先（大井ふ頭その2）に移転設置することを目的とするものである。

当社は京浜工業地帯のほぼ中央に位置し、創業以来60年化学機械メーカーとして独自の研究・開発を重ね、現在、敷地面積0.6ヘクタール、従業員約150名の企業規模に達している。周辺地域は準工業地域であり、多数の工場および商店・住宅の密集する住・工混在地域である。

昨今、製品の大型化に伴う周辺の交通事情の悪化、作業環境の整備、地域住民の公害に対する意識向上等に対応し、企業の近代化、高度化を推進するための検討を重ねてきたが、行政当局の土地利用の純化、住・工分離を図るという都市環境の整備に寄与するため、関係機関と協議のうえ計画地への移転を決定するに至った。

### 2-2 内容

#### (1) 対象事業の位置

東京都大田区城南島一丁目地先（大井ふ頭その2埋立地内、図2-1参照）

#### (2) 面積等

新工場建設予定地は大田区城南島一丁目地先の大井ふ頭その2埋立地内に位置し、都市計画法による用途地域は工業専用地域に指定されている。

新工場建設予定地の敷地面積は約0.91ヘクタールであり、現在A.P.（荒川工事基準面）+6.5mに造成されている。

建設計画では、敷地面積の41.2%（約0.375ヘクタール）を工場、事務所等の建物用とするほか、33.6%（約0.306ヘクタール）を駐車場、通路等に、また、25.2%（約0.229ヘクタール）を緑地に割り当てる計画である。

敷地内の面積の内訳は表2-1に示すとおりであり、工場の建物位置の概略は図2-2に示すとおりである。

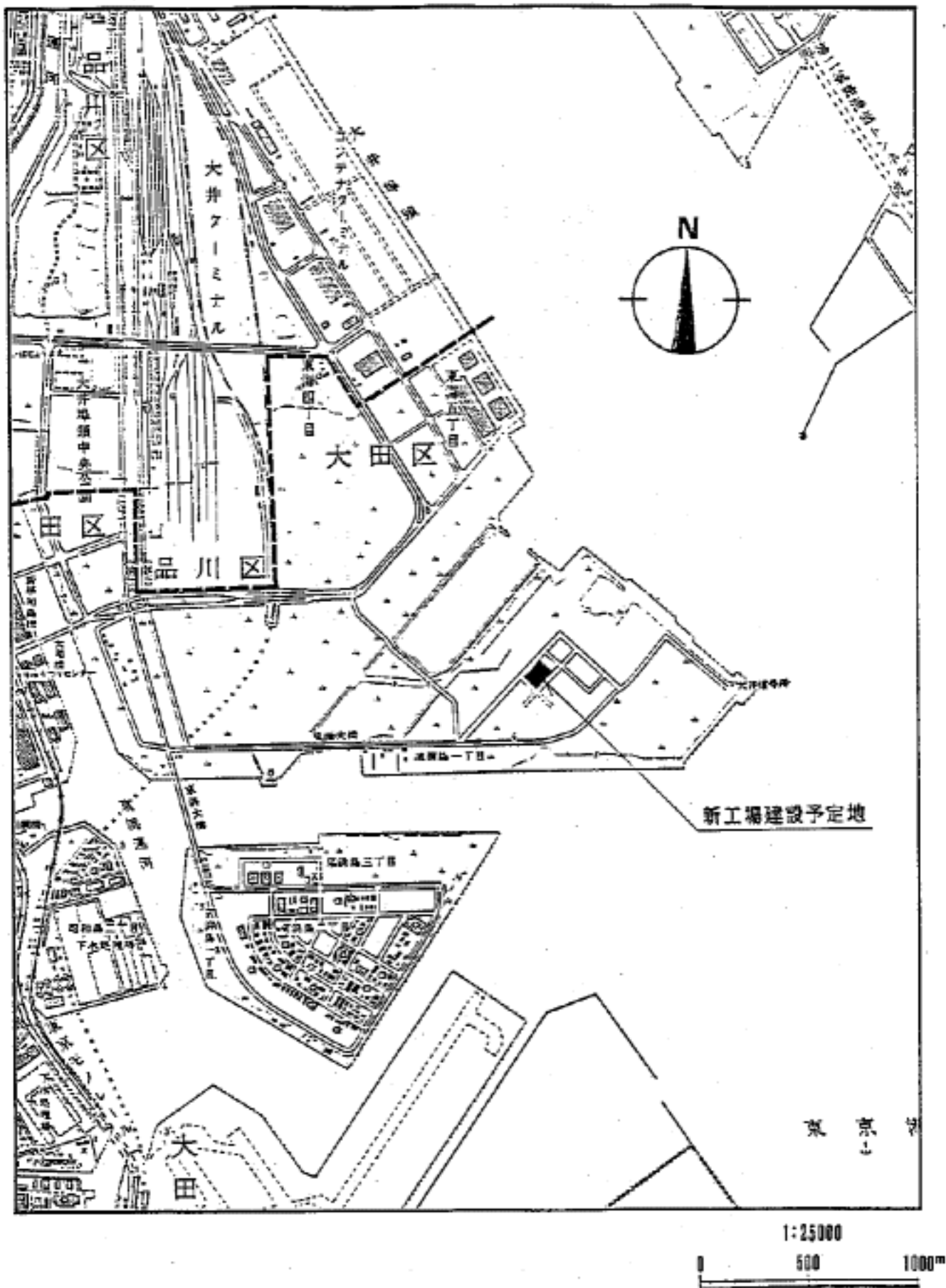


図2-1 対象事業の位置図

表2-1 敷地面積等

施設	項目	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	作業場面積 (㎡)	敷地面積と割合	
					面積(㎡)	割合(%)
工場 (建)	パフ用地工場	228.00	228.00	228.00	228.00	2.5
	模金工場	624.00	624.00	612.00	624.00	6.9
	機械工場	1026.50	1004.50	980.00	1026.50	11.3
	組立工場	476.00	476.00	461.60	476.00	5.2
	塗装工場(3階建)	164.00	492.00	156.30	164.00	1.8
	切削・スクラップ置場	10.50	10.50	—	10.50	0.1
	小計	2529.00	2935.00	2437.90	2529.00	27.8
物 (建)	管理事務所棟(5階建)	426.12	1998.03	—	426.12	4.7
	実験室棟(4階建)	367.76	1343.90	—	367.76	4.0
	倉庫棟(2階建)	403.20	1273.60	—	403.20	4.4
	危険物倉庫(平屋建)	17.33	17.33	—	17.33	0.2
	張り部下	9.90	9.90	—	9.90	0.1
	建物合計	3753.31	7477.76	—	3753.31	41.2
	そ の 他	緑地	—	—	—	2290.35
駐車場(28台)、通路		—	—	—	3056.40	33.6
小計		—	—	—	5346.75	58.8
合計		3753.31	7477.76	2437.90	9100.06	100.0

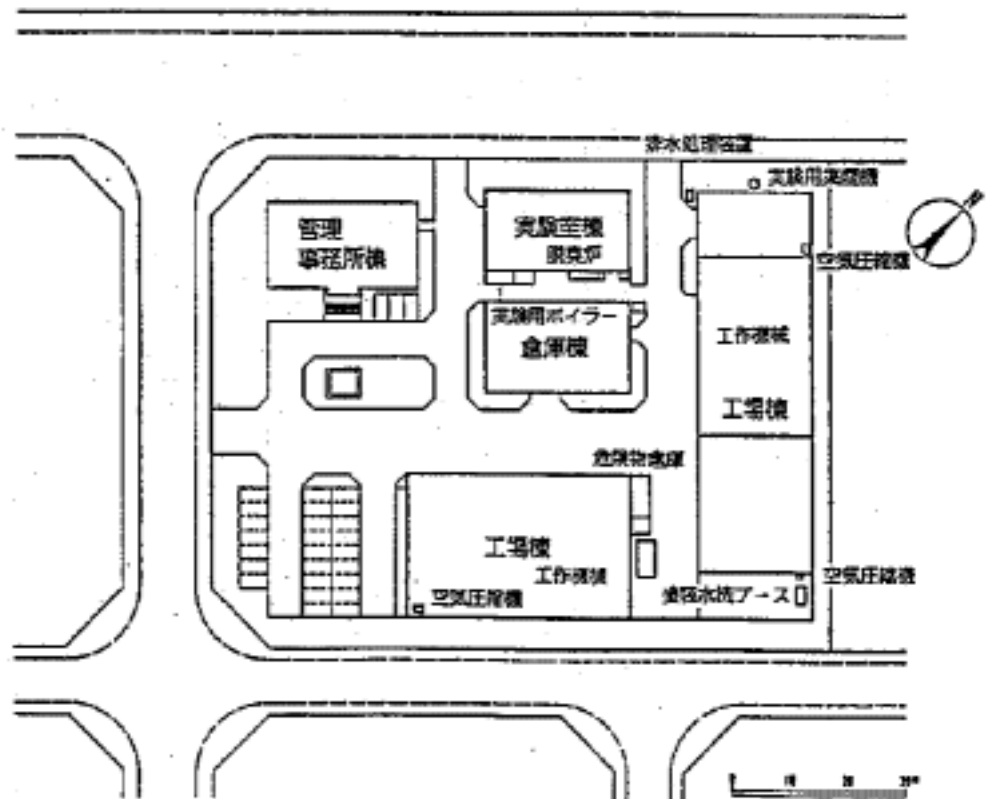


図2-2 工場の建物位置の概略

( 3 ) 建設工事計画の概要

① 建設期間

建設工事は昭和60年中に着工し、約8カ月の期間行うことを予定している。

建設工事計画の工程表は、表2-2に示すとおりである。

② 工場供用予定

新工場の供用開始は、昭和61年3月頃を予定している。

表2-2 建設工事計画の工程表

	年 昭和60年									
	月 第1月	第2月	第3月	第4月	第5月	第6月	第7月	第8月	第9月	以降
土 木 工 事	杭工事		土工事			外構工事・緑地造成				
建 築 工 事				躯体工事				内・外装、付帯工事		
機 械 据 付 工 事					屋外機械			屋内機械		
輸 送	土木資材・残土等				外構資材等					
				建築資材等						
					機械資材等					
運 転										←